

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2007年4月号

平成19年度川崎競馬開幕

～酒井俊夫 開催執務委員長に聞く～



2007年度の開催がスパーキングナイターで開幕します。まずは昨年度を振り返っていただけますでしょうか？

川崎競馬の2006年度はJBCへの取り組みが中心でした。三年計画で誘致に成功し、これまで1日開催であったものを2日に分けて実施するなどの川崎独自の開催形態に対して、色んな意見があり紆余曲折しながら実現に至りました。

売上は2日間で36億円、これは目標に掲げた39億円を若干下回った数字ですが、全体としては成功したと思っています。目標には届かなくても2日には川崎競馬のナイター開催の売り上げレコード、3日には一競走の最高売り上げを記録しています。スタンドを埋め尽くしたファンの歓声で場内は賑わいましたね。壮観でした。

2日間開催とスプリントからマイルへの変更を理解して認めていただいたことには感謝しなければなりません。開催場は持ち回りが原則のため全国の主催者が名乗りをあげるなかで、川崎の取り組みはJBCの在り方に先鞭を付けたとは申しませんが、裾野を広げることができたのではないのでしょうか。実施に際しましてご協力いただいた川崎競馬関係者、全国の主催者、各関係団体そしてファンの皆様にはこの場をお借りして改めまして御礼を述べさせていただきます。

二日間に分けたなかで、マイルの売上は六億円、クラシックは八億円。そう考えると他の競走がかなり売れたということになります。ローレル賞、ロジータ記念、各種イベントも好評でした。

ぜひまたやりたいですね。今年は大井、来年は園田とすでに決定していますがその先にぜひ立候補したいと考えています。オリンピックではないですが、四年に一回は川崎でJBCを実現させたいですね。地方競馬の祭典ですから。ナイト&デイは一回やりましたので次はどうか。いかにして打ち出していくか、今から作戦を練りはじめます(笑)。

また、昨年はJBCへの準備も兼ねてということもあって、よみうりランドさんの協力を得て施設改修にも着手。特別観覧席の増設のほかグループで楽しんでもらえるようボックス席を新設しました。3号館の塗装も綺麗に塗り替えたり、パドックを張り替えたりと、改修をたくさんしています。塗り替えるだけでもイメージが明るく変わりましたね。

軸であるJBCと並んでお正月開催も好評をいただきました。南関4場と相談しまして今後は「正月は川崎開催」と固定できることになりましたが、これは非常に大きいと思います。川崎大師への初詣、箱根駅伝と川崎競馬、この3つが新春の川崎の風物詩になっていければと。川崎大師駅前にも大きな看板を立てたことで初詣帰りに寄ってくださったようです。



18年度の開催成績は14回 65 日で総額約 496 億円の売り上げで1日平均約7億6千万円。前年比 11.8%の伸び率となり好調でした。JBC開催による波及効果そしてお正月開催、川崎記念やエンプレス杯など大きなレースのある正月以降が天候に恵まれたのも一つの要因です。雨にたたられたりして不調だった前半分を後半で追いつけたという感じでしょうか。競馬組合の平成18年度の最終的な決算は現在とりまとめている最中ですが、おかげさまで2年連続で単年度黒字が見込めそうですね。具体的な数字は年度内分のすべての支払いを済ませてから発表できると思います。まだ、多額の累積赤字を抱えておりますが、今後とも気をひきしめて頑張っていきたいと考えております。

新年度に向けての取り組みについて聞かせてください。まずは番組面ではいかがでしょうか？

19年度の開催日数は14回64日。賞金面では、昨年と変わりはありませんが、重賞は昨年休止した鎌倉記念を復活させて10月に実施します。以前と同じ2歳戦ですが今年は地方交流というかたちになります。これまで年に3回だった地方交流戦を鎌倉記念、スパーキングサマーカップの2競走増やして5回にします。南関東内の交流もさらに拡大していきたい。距離の多様化も図りたいですね。重賞ばかりでなく例えばC2クラスでも2100m戦をやるとか下級条件でも長距離戦を増やしていく、そんな取り組みもしていきたいと考えています。

川崎競馬組合には神奈川県と川崎市の幅広い部署から職員がくるわけですが、4、5年前から県や市の職員に対して希望制度を設けて手を挙げてもらっていて、プロパーではないんですが、競馬に興味や知識のある者、それだけ意欲のある者を職員として配置してもらっています。こうした職員も含めて、経営改善に一丸となって取り組んでいます。

それから、広域場外を拡げたいという希望がありますね。着任して一年間見えてきて、当初はナイターの方が売れるのだらうというイメージがありましたが、実際、

ナイターとなるとなかなか場外展開という部分で条件が厳しくなってくるんですね。全国で売っていただけるということに有り難さを感じます。

施設面では？

施設整備については、昨年度よみうりランドさんに頑張ってもらったから、今年になっての大きな施設整備予定はありませんが、AED(自動体外式除細動器)を設置するなどできる範囲での改善は重ねていくつもりです。昨年、競馬開催中の場内で具合を悪くされたファンの方がいて、その際にAEDはないのかとご指摘がありましたので場内に設置しました。

分煙化を進めるための施設整備もしていきたいですね。どの部分にするかはもっか詰めている段階ですが、禁煙エリアと喫煙エリアをしっかりと分けていきたいという考えはあります。

ファンサービスについてはどうでしょうか？

平成19年度の川崎競馬は、昨年のテーマ「川崎ライブ」を発展させた「いざ、川崎っ。」をテーマにポスター等で広報展開していきます。京浜急行のドア上広告に加えて、JR線内に中吊り広告等を再開させましたのでこのようなPRは今後もしていきたいですね。中央競馬ファンを意識したタイピングでテレビCMをスポットする予定もあります。



18年度を見ますと在宅投票の伸びが良い。平成17年5月からジャパンネット銀行、同年12月からイーバンクと提携して拡大してきました。楽天競馬との提携も2月から始まっていますので4月以降にも期待したいところです。在宅投票は仕組みとして大変ありがたいことですが、18年度もJBCとお正月開催があったぶん健闘したにせよ全体として本場への入場者が減少傾向にありますので、本場に来ていただくための取り組みを強化したいと考えております。18年度は「川崎ライブ」というテーマを掲げまして、本場に来ていただいた方には別の楽しみを味わっていただけるよう力を注ぎました。今年はポイントカードを導入することでさらに強化していきます。具体的な内容はまもなく発表できると思います。オンラインクーポンも積極的に利用していきたいですね。携帯世代に向けた発信も強化していきたい取り組みです。

JBCとお正月開催があった18年度。そして19年度は川崎競馬にとっての本当の意味での「勝負の年」でもあるわけです。今後を占う意味でも大事な一年になってきます。今年もたくさんのファンの方にぜひ本場へ足を運んでいただいて、川崎競馬に響く蹄音をライブで楽しんでほしいですね。

酒井開催執務委員長ありがとうございました。

本田紀忠騎手デビュー



この4月の開催から、本田紀忠騎手(高月賢一厩舎)がデビューする。神奈川県横浜市出身の22歳。小、中と野球部で活躍。競馬が好きだった父の影響もあり、また自分の体型を生かせる仕事に就きたいと思い騎手を志望したと言う。中学を卒業してから乗馬クラブで研修生として学んだ後、高月厩舎でも1年間厩務員見習いをして働き、教養センターに入所した若手である。

目標とするのは、「迫力ある追い込みと、気配りの出来る人柄が素敵な」今野忠成騎手と、「馬へのあたりが柔らかく、見ていて格好いい」酒井忍騎手。そして「いつも沢山のアドバイスをしてくれる」鈴木義久元騎手。

「実習生のときと黒帽(騎手)になってからは厳しさも全然違います。今まで色々な人の支えがあってここまで来られたと思います。」と落ち着いて、しっかりした考えを持っている。一見温和でやさしそうに見えるが、「頑固な性格」と自分を表現する。

「南関東の同期には負けられません。そして自分にも負けないです！」騎手になってからの目標は、「新人賞を獲りたいです。重賞も勝ちたい。そしていつか上の人を脅かせる存在になりたいです。」とはにかみながらも真っ直ぐな視線で答えてくれた。

勝負服の柄は、「先生が考えてくれました。」という黒と黄色の高月厩舎カラー。常に周りの人たちに感謝する気持ちを忘れない好青年のこれからを長い目で見守っていききたい。

一ノ瀬 亨ジョッキー 10 勝達成・・



「やっとできた～、ひと区切りついた～、というのが本音。自分では気にしているつもりはなかったんだがプレッシャーがどこかあったんじゃないかな。それが馬にも伝わってしまったのかもしれない。だって、999勝目から10ヶ月も勝てなかったんだから。その証拠に達成したとたんにあっさり1001勝目。それも一度半馬身交わされたのに、あの内田博幸騎手相手に差し返した(笑)」。



マルケンダイドウやキミホマレでアラブ重賞を勝ち、平成6年にはカネショウゴールドと出会って東京ダービーを制した。「カネショウゴールドは3歳優駿(現在の全日本2歳優駿)の頃には折り合いがつかなくて難しかったが、馬とケンカしながら抑える競馬を教え込んでね。ダービーの時には折り合って7、8番手から。あと100mでスペクタクルを交わしたときには思わず、やった～と声が出てしまった(笑)」。

公私ともに順風満帆に見えたが好邪魔多し。ダービー制覇の翌年のこと、大井の3コーナー過ぎて事故が起きた。「その瞬間はスローモーションのようによく覚えてる。挟まれてラチにぶつかって落ちた自分に540キロの馬が乗っかってきた。それも右親指の上に。朦朧とするなかで千切れた指を探して拾ったんだが手術しても着かなかった。骨がぐちゃぐちゃだったから。もう終わったな…ってその時思った。頸椎も痛めて2日間意識がなかった」。家族の支えがあった奇跡の復活を果たし、今では「ステッキを持ち帰るときにあれ??って思うくらい」の違和感があるだけだという。

「俺の騎手人生は波瀾万丈。騎手にとって厳しい時代になっているし、何度もやめた方が楽なんじゃないかと思ったときもある。しかし、今はもう一度やってみたい、できるんじゃないかという気持ち。調教師の道を考えるときもあるが自分自身で体力の限界を感じて納得したらビタリと辞めるよ。それは次に重賞獲ったときかもしれないし。それまで頑張りますので応援よろしくお願いします」。今年で50歳。1000勝というひと区切りを越えて再燃したイブシ銀の手綱捌きを今日も期待しよう。



3月1日第3競走。マッチレスに騎乗し好スタートからそのまま逃げ切りゴール。一ノ瀬亨騎手は通算勝ち鞍1000勝達成した。デビューから11,118戦目のことだった。999勝目を挙げたのは2006年4月21日。じつに約10ヶ月もの間「あと1勝」の産みの苦しみを味わってきた。「家ではいっさいその話題をしないで支えてくれた」みさえ夫人や一男二女の子供達が喜んでくれたのが何より嬉しかったという。

北海道新冠の出身。10人兄弟の末っ子として育った。近所の牧場からの誘いですぐ上の兄(一ノ瀬司・元調教師)が先に騎手になり、自身は13歳で上京して川崎の勝又専次郎師の元に入門した。厩舎作業を手伝いながら中学校に通った。騎手デビューを果たしたのは昭和50年5月16日、17歳の時だった。「勝又先生には乗り方から、生活面まですべて一から教わった。厳しい先生だったからよく説教されたが、今では感謝しきれないことばかり。同期は全国に25人いたんだが、船橋の秋田騎手が引退したことで俺が最後の一人になってしまったよ」。

22歳で内田勝義調教師の妹みさえさんに一目惚れして結婚。騎手としても

インパーフェクト中央へ



ホッカイドウからの転入後、川崎・河津厩舎所属として中央の芝路線に挑み続けてきたインパーフェクト。

皇月賞の出走権をかけた弥生賞では果敢な逃げを打ちまし

たが結果は13着。レース後にはビッグレッドファームに移動してリフレッシュ休養中ですが、そのまま中央へ移籍することになりました。

ロッキーアピール黒船賞遠征

すでに9歳の古豪ながら「年齢のわりに馬が若い。衰え知らず」(山崎調教師)というロッキーアピールが、高知・黒船賞へは3年連続参戦しました。「3コーナーで交わされた時には失速してしまうかと思ったが最後までよく粘ってくれた」と佐藤博紀騎手。休養明けながら4着にふんばり、今年もスプリント戦線をにぎわせてくれそうです。次走はかきつばた記念を予定。

マンハッタンバー移籍

3月21日、池田孝厩舎に中央からマンハッタンバーが移籍してきました。1800の新馬戦ではジャングルポケットが持つレコードタイムを塗り替えた逸材。弥生賞にも駒を進めました。「素質は非凡。ダービー出走を目標に仕上げていくつもり」と池田調教師。新たな刺客の登場で南関東クラシックがいっそう面白いものになってきました。

おつかれさま

平成19年2月退厩馬

田島	ツルノフラワー	牝 5	群馬県	乗馬繁殖
山崎	ラベルビジュ	牝 7	北海道	乗馬繁殖
武井	ビービートルネード	牡 4	滋賀県	乗馬繁殖
池田	マリンスター	牝 4	北海道	乗馬繁殖
池田	ヒカリトリアネ	牝 5	千葉県	乗馬繁殖
池田	キンセイリゲル	牡 5	東京都	乗馬繁殖
長谷三	セユードリーム	牝 5	栃木県	乗馬繁殖
内田勝	エンジェリックラヴ	牝 4	群馬県	乗馬繁殖
中野	ミチノクウェル	牝 7	神奈川県	乗馬繁殖
村田六	キタサンウェイヴ	牝 3	福島県	乗馬繁殖
杉村	オートサンゴ	牝 4	栃木県	乗馬繁殖
佐々吉	コスモセドナ	牝 4	埼玉県	乗馬繁殖
内田勝	リヴァーガーデン	牝 4	北海道	乗馬繁殖
山崎	リバーサイド	牡 4	兵庫県	乗馬繁殖
足立	クラクエンキャット	牝 5	北海道	乗馬繁殖
今井	オオイシアタロウ	牡 3	長野県	乗馬繁殖
稲垣	スピリアブルー	牡 4	神奈川県	乗馬繁殖
稲垣	イブキアンビション	牡 6	福島県	乗馬繁殖
内田勝	ラブランジェリ	牝 4	北海道	乗馬繁殖
足立	オールドボブ	牡 4	栃木県	乗馬繁殖
河津	コスモバングル	牡 6	埼玉県	乗馬繁殖
八木仁	トウカイトイクン	牡 4	茨城県	乗馬繁殖
田島	ムービングウェル	牝 3	神奈川県	乗馬繁殖
武井	プレシヤティアラ	牝 4	北海道	乗馬繁殖
山崎	キョウエイムーン	牝 4	岩手県	乗馬繁殖
山崎	メルシー	牝 3	愛知県	乗馬繁殖
佐々仁	ガイアピュアハート	牝 4	岐阜県	乗馬繁殖
高月賢	ブルーラゲーン	牡 4	千葉県	乗馬繁殖
照沼	トゥデイフオーユ	牡 4	神奈川県	乗馬繁殖
原	ヒロヤスキングオー	牡 4	神奈川県	乗馬繁殖
足立	アイディンピュア	牝 5	埼玉県	乗馬繁殖

2006 表彰特集 Part 2

関東地方公営競馬協議会 既務員表彰 — 3月16日 in大井競馬場 —



<功労表彰>
下モ内清志 既務員
(長谷川三郎厩舎)

55歳。青森県出身でキャリア30以上になる大ベテラン。現在の担当馬はドラゴンシャークとミホサクラ



<優良表彰>
鈴木章友 既務員
(福島幸三郎厩舎)

静岡県出身。既務員として15年一貫として福島厩舎。現在担当馬はヤマノショウリュウとテンビー産駒2歳。

ファンが選ぶ川崎競馬グランプリ (ネット投票により選出されました)



<ベストホース賞>
ビービートルネード



<ベストジョッキー賞>
今野忠成騎手



<ベストレース賞>
川崎記念

* staff room *

●クラシック真っ只中で3歳戦が盛り上がる一方で、2歳馬の姿をチラホラ見かける季節になりました。川崎初の白馬馬のいる佐々木吉郷厩舎には全妹も3月3日に入厩してきていますよ。左が兄のハクパノデンセツ。右が妹ですが、同じ白でも妹の方がより真っ白です。



●今年に入り中央地方問わず暇を見つけては毎週どこかの競馬場に行っています。季節ごと競馬場ごと雰囲気はそれぞれ。直接競馬場で空気、音、風などいろんなことを感じるのとはなんらかすく幸せな気分になります。インターネット投票では記念馬券は出てこない。好きな馬やジョッキー一名が印刷された馬券を手に入ればさらに応援にも力が入ります。みなさんもぜひ競馬場に行ってみて場の空気など見て聞いて触れて感じてください。自分にしかわからない感動が待っているかもしれません。

●川崎グランプリの記念品を贈呈するため、船橋の川島厩舎に行ってきました。名馬の宝庫と言われるだけあって、圧巻でした！綺麗な応接間、手を掛けられた厩舎。既存のものをよりよく改良し、使い勝手をよくしていく姿に圧倒されました。リーディングを邁進する原動力は一人一人の力の積み重ねなんですよ。川崎の厩舎もそれぞれよい結果に向けて努力しています。厩舎に行くといつもそう感じます。取材を終えた後はいつも思うんです。自分ももっと頑張れるんじゃないかって。(ちなみにアジュディミツオーはかしわ記念を目標に坂路を取り入れた調教を始めるそうですよ)

藤江騎手がパパに

藤江涉ジョッキーに3月7日ご長男・優(ゆう)くんが誕生しました！3124グラムの元気な男の子です。「父ちゃんは家族のためにもますますガンバリます!!」と張り切っています。



先日桜花賞ではフェアリーローズで南関東移籍以来初のクラシック参戦を果たし5着に健闘。チャンスを広げています。